

第3学年1組 算数科学習指導案

1 単元名 小数「1より小さい数を表そう」

2 指導観

- 本学級の児童は、自分の考えをつくり、友だちに伝えるペアやグループでの交流活動を重ねてきているものの、自分と比べながら友だちの意見を聞いたり、よりよい考えに高めたり、互いのよさを生かして一つにまとめたりする交流の深まりはまだ弱い。これまでに、長さやかさの学習において1mmは1cmを、1dLは1Lを10個に分けた1つ分であることを学習し、「10で分ける」ことにより、1より小さい新しい単位をつくることを経験している。そこで、身長や体重、50m走のタイム、靴のサイズなど身近な小数への興味を広げるこの期に本単元を取り上げる。そして、ペアやグループでの交流を通して自分の考えを強めたり、広げたりすることで、これまでの整数の十進位取り記数法の考えを1より小さい数に拡張できるようにする。このことは、生活の中にある小数を日常で用いる技能を高める上からも意義深い。
- 本単元に関しては、第2学年で長さやかさの測定に関連して「9cm2mm」、「3L6dL」など、それまで学習していた単位よりも小さい数量を「10で分ける」ことにより新しい単位で表す学習をしてきている。本単元では、これらの上立って端数部分の大きさに小数を用いることを理解し、1Lに満たない量を0.4Lと表したり、3L6dLを3.6dLと表したりできるようにする。そして、数直線を用いて小数のしくみや大小関係を捉えたり、小数の加法・減法の計算を正しく行ったりすることができるようにする。また、0.1は1を10個に分けた1つ分であることをもとに「0.1のいくつ分」という考えを使うことによって、小数の計算も整数と同じようにできることが理解できるようにする。このことは、第3学年の分数の学習や、第4学年の小数の学習での小数第2位、3位までの表し方、小数第2位までの加法・減法の学習へと発展していく。
- 本単元の指導にあたっては、整数では表せない端数部分の大きさを小数で表すことを知り、大小関係を捉えたり、加法・減法の計算を正しく行ったりできるようにする。そこで、まず、かさや長さの端数部分を小数で表すことを理解できるようにする。次に、数直線上の小数をよんだり、小数を数直線上に表したりすることで、小数の大小や順序の関係を調べたり、0.1のいくつ分と考えれば、整数と同じ見方ができることや、10個集まると1つ上の位に繰り上がることなど、整数と比べて説明したりすることができるようにする。そして、まず図や数直線、「0.1のいくつ分」の考え方を用いて小数の加法・減法の筆算の仕方を説明すること、正しく計算することができるようにする。そうすることで、身のまわりの小数への関心を高め、小数のよさを実感し、日常生活にいかすことができるようにする。

3 目標

- 小数の意味や表し方を理解し、1より小さい数を小数で表したり、10分の1の位までの小数の加法・減法の計算をしたりできるようにする。 【知識及び技能】
- 0.1のいくつ分かに着目することで、小数でも整数と同じしくみで大小関係を比べたり、計算できるかどうかを考えるとともに、小数を日常生活に生かしたりすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力】
- 小数を用いると整数で表せない端数部分の大きさを表せるよさを感じ、身のまわりにある小数に目を向けて日常生活や学習に生かそうとすることができる。 【学びに向かう力・人間性等】

4 計画(全12時間)

- 1 小数について関心をもち、整数で表せない端数部分の量を表すのに小数を使うことを知り、「1を10個に分けたいくつ分」という考えをもとに小数を使って長さを表す。…③
- 2 数直線をもとに、小数の構成を考え、大小関係を捉えることができる。…②(本時1/2)
- 3 0.1のいくつ分かで加法の仕方を考え、正しく計算することができるようにする。…③
- 4 0.1のいくつ分かで減法の仕方を考え、正しく計算することができるようにする。…③
- 5 学習したことを振り返り、小数のよさを実感させる。…①

5 本 時 令和元年 11 月 8 日（金） 3 校時 於： 3 年 1 組教室

6 主 眼

- 数直線に表された小数をよんだり、小数を数直線に表したりする活動を通して、小数、整数の大きさの関係を捉え、説明することができるようにする。

7 準 備

- ・ 提示用数直線
- ・ ノート貼付用数直線

8 展 開

| 段階 | 主な学習活動 | 具体的な手立て |
|---|---|--|
| つ か む さ ぐ る ふ か め る い か す | <p>【問題を見出す活動】</p> <p>1 問題文を読み、本時のめあてをつかむ。 ○ 今までタイムを行い、数直線のよみ方を確かめ、課題解決の見通しを立てる。 ・ ものさしに似ている ・ 小さいめもりは、1 を 10 個に分けた 1 つ分 ・ 1 めもりは、0.1</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>数直線を使って、小数の大きさをくらべよう。</p> </div> <p>【考えを表現し伝え合う活動】</p> <p>2 数直線のめもりをよんだり、数直線上に小数を表したりする問題に取り組む。 ○ アのめもりの小数での表し方を話合う。 ・ 0.1 の 13 個分だから 1.3 ・ 1 と 0.1 の 3 個分だから、あわせて 1.3</p> <p>○ 4 つの小数を数直線上に表し、大小関係を捉える。 ・ 0.6 は 0.1 が 6 個分だから… ・ 1.8 は 1 と 0.8 だから…</p> <p>3 小数の大きさを比べる方法について話し合い、本時のまとめを行う。 ・ 0.1 のいくつ分で考えると整数で比べられる ・ 小数の大きさを比べるときも整数と同じように位の数の大きさを考えれば分かる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>小数の大きさは、0.1 のいくつ分で考え、整数と同じように位ごとの数の大きさをくらべれば分かる。</p> </div> <p>【学んだことを活用する活動】</p> <p>4 チャレンジタイムを行い、小数のしくみ、大小や順序について学習したことを確かめる。 ○ 教科書 p 36 の練習問題に取り組む。</p> <p>5 「今日の学習で」を書き、本時学習を振り返る。 ・ ~ができた ・ ~が分かった ・ ~さんが… ・ 次の学習では</p> | <p>○ 前時までの学習内容を振り返らせ、「1 を 10 個に分けたいくつ分」という考えを想起させる。</p> <p>○ 前時学習のものさしのよみ方を想起させ、整数と 0.1 がいくつ分かて考えればよいことに気付かせる。 ○ 「0.1 のいくつ分」の考えを使って考えればよいことをおさえる。</p> <p>○ 1.8 は 1 と 2 の間に、2.2 は 2 と 3 の間にあることを捉えさせるために 1 の位の数に着目させ、『整数』と『小数』という見方を促す。 ○ 0.6 と 1.8 の大きさを比べるのは、6 と 18 の大きさを比べるときと同じであることに気付かせるために、本時の学習と既習の内容を併記して板書する。</p> <p>○ 「0.1 のいくつ分か」『整数』と『小数』という本時の考えをいかして考えさせる。</p> <p>○ 本時の学習を振り返り、自分の学習の評価をさせる。</p> |

